

第十三回

深掘り！

京博

バックヤード

その八

(保存科学室)





京博文化財保存修理所で

書画と

彫刻の
修理

模写

—の工房を
見学してきましたけど



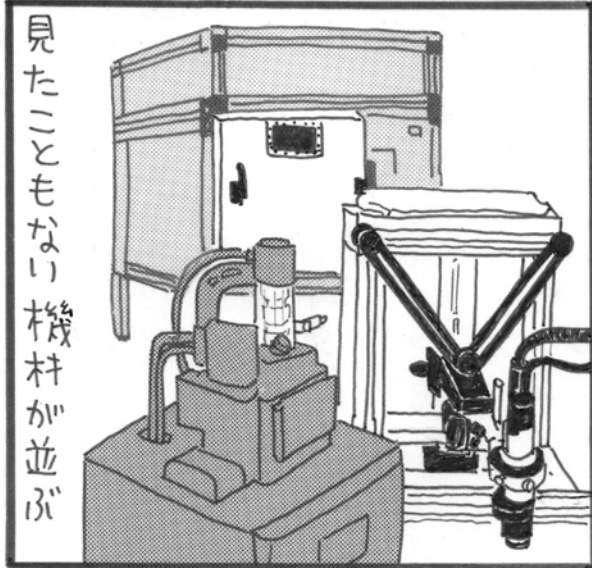
そのみたすうにアナログな
作業の前に

修理する際
どんな紙を
使っているか調査します

これは今
修理中の
仏像の
×線写真
です

科学調査で
残っている顔料の
成分を調べると
元は何色だったかが
わかります

その作品は
何やら最先端の科学調査を
受けているようだった



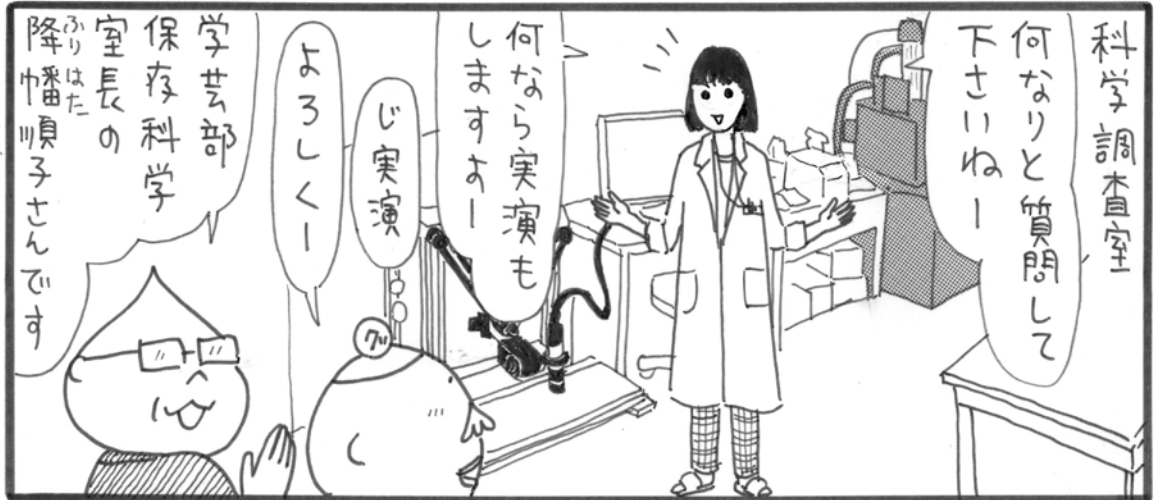
見たこともない機材が並ぶ



今日はその
保存科学の
現場を見て
いただき
ましょう

と栗原副館長がつれて行って
くれたのは平成知新館地下の—

ホントはみなさんマスクしています



科学調本直室

何なりと質問して
下さいねー

何なら実演も
しますよー

じ実演

よろしくー

学芸部
保存科学
室長の
降幡順子
さんです

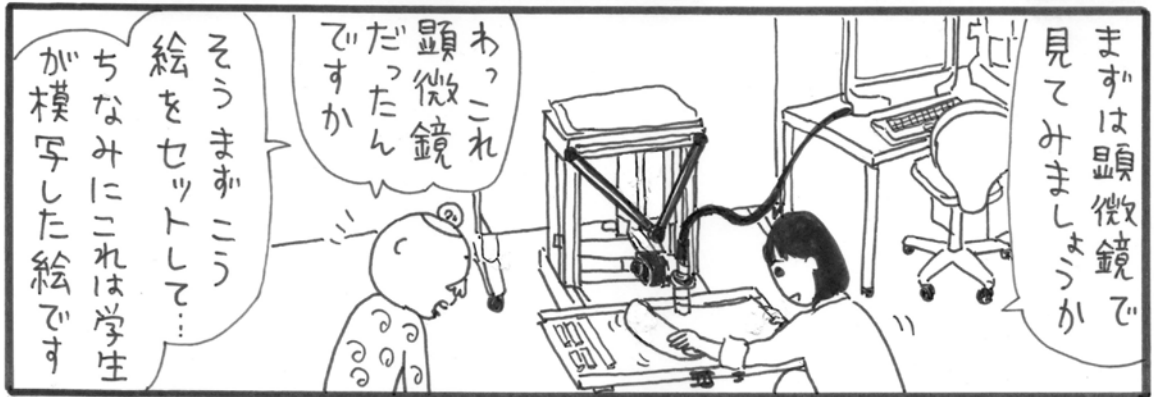


えーっとこの前
作品に残っている
絵具の成分を
調べると元は何色
だったかわかるって
聞いたんですけど

それって
どうやって
調べるん
ですか？

顕微鏡
で拡大すれば
わかるものも
ありますし

それでわからな
い場合X線を使
った分析方法や
分光分析で調
査します



まずは顕微鏡で
見てみましょうか

あ、これ
顕微鏡
だったん
ですか

そうまがニッ
絵をセットして...
ちなみにこれは学生
が模写した絵です



こうして前後左右に
スライドできるので

作品に
触れずに
見たいところを
レンズの下に
持っていけます

これは
200倍で見て
いますか
この光って
いる部分
の顔料は
雲母
ですな

おお？



わーそれは
模写や修理の
時にめっちゃ
必要な情報
ですね

ええ 絵画の
場合 絵具は
鉛物が多いので
さらに成分を
詳しく知るには



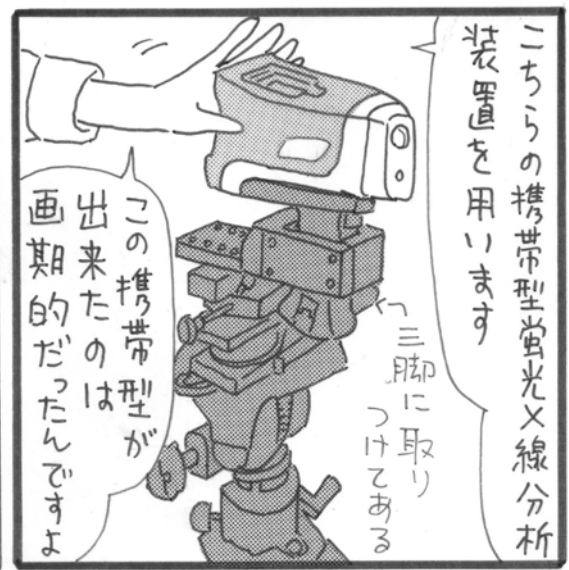
肉眼では一色に
見えても 絵具
を混ぜているのが
わかったりどの色
を先に塗ったか
などもわかります

こらして拡大
すると 絵具って
つぶつぶして
ますね



と...と?
現地に
行って 調査
できるの
貴重なの
文化財を
移動させる
リスクが
なくなり
ます

なるほどー



こちらの携帯型蛍光X線分析
装置を用います

三脚に取り
つけてある

この携帯型が
出来たのは
画期的だったんですよ



これは
鉛なんだ

ここに
分析が
結果が
出る

小型化へ
開発が進んだそうです

リサイクル産業で
廃材がどんな金属を使って
いるか調べるのに需要が
あって



これって文化財の調査用に
開発されたんですか?

いえいえ
電子機器や
環境管理分野
が多くて

例えば
金属
リサイクル産業で



